

平成29年12月定例記者会見要旨（平成29年12月1日開催）

1. 玉木氏が希望の党の代表になられたことについて

玉木氏が希望の党の代表になられたことについては、地元選出の国会議員が野党の代表に就任されたということであり、正直に申し上げて、多少の戸惑いはある。今後の市政運営にどのような影響をおよぼすのかは分からないが、三権分立の一角を占める国会において、しっかりと野党が存在感を示し、活発な議論を交わしていくことが重要である。

希望の党自体が、誕生したばかりの新しい政党であるため、今後の党運営にはご苦労も多いと思われるが、政策通である玉木議員には、大いに活躍されることを期待する。

2. 坂出北 IC フルインター化の早期運用開始について

坂出北 IC のフルインター化は、本年7月に事業化が決定し、2024年の完成に向けて既に事業が動き出している。事業の大半を占める本体工事は本州四国連絡高速道路が担うこととなるが、本市においても用地交渉や、市道の付替え等の事業分担がある。これから事業が本格的に進んでいくことになるが、車両を通行させながらの工事となるため、完成には、かなりの時間を要する。

坂出北 IC のフルインター化で「物流ネットワークの形成」や「四国の防災拠点」などの効果を早期に発揮できるよう、少しでも早い運用開始に向けて、さまざまな機会を捉えてアピールしていきたい。